

重要業績評価指標 (KPI)

約4割の重要業績評価指標 (KPI) で目標値を達成

■44の事務事業のうち、事業に着手している33の事務事業について評価（参考資料参照）

評価対象となる39のKPIのうち、約4割にあたる16のKPIで最終年度の目標値を前倒しで達成一方で、8つのKPIで低下しているため、目標に向けた取組の改善が必要

【KPI評価一覧】

連携分野	◎	○	△	×	小計	評価対象外	合計
I 圏域全体の経済成長のけん引	4	7	0	3	14	1	15
II 高次の都市機能の集積・強化	3	5	0	1	9	0	9
III 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	9	3	0	4	16	10	26
計	16	15	0	8	39	11	50

■評価の基準:

50のKPIから事業実施前等の11のKPIを除いた39のKPIについて、下記の4区分で評価

「◎: 目標値を達成」

「○: 基準値に対し、上昇」

「△: 基準値に対し、横ばい」

(変動率±0.5%の範囲内)

「×: 基準値に対し、低下」

取組事業(例)

○食品製造業見本市共同出展

- 新たな販路開拓を目指す意欲ある食品製造業を支援するため、大規模な食品製造業見本市へ5市17社が共同ブースを出展し、圏域内企業の地域性豊かな商品を全国に発信



【見本市の様子】

○図書館相互利用

- 連携市町間（7市4町）での相互利用（貸出・返却）を実施
- 図書館相互利用のパンフレットを作成・配布
- 圏域内住民一人あたりの年間貸出冊数は増加傾向
5.9冊(H27)→6.1冊(R1)



○子どもパスポート

- 全連携市町の小学生を対象に、圏域内の指定施設を無料で利用できるパスポートを作成・配布
- 圏域内周遊及び施設利用を促進するため、パスポートを利用したスタンプラリーを実施
参加者のうち延べ328人に景品を配布

